

英語 A (English IV A)

担当教員名	井上 英俊	
学科・専攻, 科目詳細	機械工学科 4年 前期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(15%) B-1(25%) E-2(60%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	(1) 国際化時代に活躍する技術者として必要な英語の基礎能力を身につけるために、特に「読む・書く」技能を涵養する。 (2) 各企業のホームページから編集された英文を題材とすることにより、実践的な英語運用能力の向上を目指す。	
テキスト(参考文献)	(1) 吉野成美:「A Visit to Amazing Kansai-based Companies」.松柏社. (2) 刀祢雅彦:「システム英単語 改訂新版」.駿台文庫. (3) 瓜生豊・篠田重晃:「Next Stage 英文法・語法問題」.桐原書店.	
履修上の注意	(1) 小テストは語彙を増やし、英作文力向上のための良い機会として、十分に活用すること。 (2) 理由なき遅刻や欠課による小テストの未受験は 0 点の扱いとする。	
科目の達成目標	(1) 英語の読解力・作文力の向上 (学習教育目標 E-2) : TOEIC 用教材における読解および作文に関する演習を通して、実用的な英語運用能力の向上を図る。 (2) 英語の語彙力の増強 (学習教育目標 E-2) : 英単語の学習を通して、英語の語彙力の増強を図る。 (3) 職業観の醸成 (学習教育目標 A-2・B-1) 現代社会に直結した題材に触れることによって、将来の技術者として必要な論理性や国際性など、広い教養を身につける。	
自己学習	目標を達成するためには、次の自己学習が必要である。 ・システム英単語の新出単語について、該当単語、発音のみでなく、用いられている例文も産出可能とすること。 ・授業において学習した英文を復習し、復唱可能な状態になるまで練習すること。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	[評価方法] (1) 年間 2 回の定期試験 (70%) (2) 随時実施される課題・小テスト・平常の発表等 (30%) [評価基準] (1) 定期試験: ・文章から必要な情報を的確に読み取ることができる。 ・与えられた条件のもと英文を正しく産出することができる。 (2) 小テスト: ・基礎的な語彙を正しく使いこなせる。 この配分に基づく評価点が 60 点以上の者を合格とする。	
連絡先	hinoue@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	授業のガイダンス 授業の進め方・単語テスト・評価の方法などについて説明を行う。
第2週	Chapter 1. サントリー 「水とともに生きる」に関する講読活動を行う。
第3週	Chapter 1. サントリー 「水とともに生きる」に関する読解演習を行う。
第4週	Chapter 2. ナベル 「卵にこめた祈りと願い」に関する講読活動を行う。
第5週	Chapter 2. ナベル 「卵にこめた祈りと願い」に関する読解演習を行う。
第6週	Chapter 3. 象印マホービン 「日常生活発想」に関する講読活動を行う。
第7週	Chapter 3. 象印マホービン 「日常生活発想」に関する読解演習を行う。
第8週	中間試験 中間試験を実施する。
第9週	中間試験の返却と解説 中間試験の返却と解説を行う。
第10週	Chapter 4. 竹中工務店 「日常生活発想」に関する講読活動を行う。
第11週	Chapter 4. 竹中工務店 「日常生活発想」に関する読解演習を行う。
第12週	Chapter 5. 特集コラム：サントリー 「青いバラの開発」に関する講読活動を行う。
第13週	Chapter 5. 特集コラム：サントリー 「青いバラの開発」に関する読解演習を行う。
第14週	Chapter 6. コクヨ 「ひらめき・はかどり・ここちよさ」に関する講読活動を行う。
第15週	Chapter 6. コクヨ 「ひらめき・はかどり・ここちよさ」に関する読解演習を行う。
期末試験	